Rokko Catholic Church Bulletin

カトリック六甲教会 教会報

2019 1
No.565

主のご降誕のお慶びと新年のご挨拶申し上げます。

			教会暦	教会行事
1月	1	火	神の母聖マリア 世界平和の日	神の母聖マリアミサ 8:30 11:00 教会受付年始休み(～1/3) 第 24 回越年越冬「冬の家」 10：00～15：30（東遊園地）
	4	金		初金曜日ミサ　7:00　10:00 教会掃除（灘西・中央）
	6	日	主の公現	
	11	金		教会掃除（東灘北１）
	12	土		典礼部会　10：00 クリスマスの片付け　13：00 教会学校　始業式･もちつき 社会活動部炊き出し
	13	日	主の洗礼	新成人祝福式と教会新年会
	14	月		教会受付休み(成人の日のため)
	16	水		大阪教区司祭評議会
	17	木		大阪教区新生の日 阪神淡路大震災追悼祈念の日ミサ　10:00
	18	金	キリスト教一致祈祷週間(～25 日)	教会掃除（東灘南）
	20	日	年間第 2 主日	幼児を持つ親の集い　11:00 ふれあい広場
	21	月		三日月会　ミサと懇親会　14:00
	23	水		教区月修
	25	金	聖パウロの回心	
	27	日	年間第 3 主日 世界こども助け合いの日	教会掃除（日曜班）
	31	木		定期清掃

＜世界平和の日　１月１日＞

教皇パウロ六世は 1968 年１月１日、ベトナム戦争が激化するなか、平和のために特別な祈りをささげるよう呼びかけました。それ以来、全世界のカトリック教会は毎年１月１日を「**世界平和の日**」とし、戦争や分裂、憎しみや飢餓などのない平和な世界が来るように祈っています。

平和はキリスト教そのものに深く根ざしています。キリスト者にとって平和を唱えることは、キリストを告げ知らせることにほかなりません。新年にあたって「信仰の原点に立ち戻り、すべての善意ある人々と手をたずさえて、平和な世界の実現に向かって、カトリック信者としての責任を果たしていく」(日本司教団『平和への決意』)ことができるよう決意を新たにしたいと思います。

＜キリスト教一致祈祷週間　１月 18 日～25 日＞

「すべての人を一つにしてください」という最後の晩さんでのイエスの祈りに耳を傾けるわたしたちはまた、折にふれて目に見える一致を示すように求められています。それは、ともに祈り、支え合うことによって、神がすべての人の救いのためにイエスを遣わしたことを「世が信じるため」です（ヨハネ 17・21-23 参照）。

キリスト教諸教会の間で毎年１月 18 日から 25 日に定められている「**一致祈禱週間**」は、このことを強く意識する機会となるでしょう。この一致祈禱週間のために、教皇庁キリスト教一致推進評議会と世界教会協議会は 1968 年以来、毎年テーマを決め、「礼拝式文」と「8 日間のための聖書と祈り」を作成しています。日本ではカトリック中央協議会と日本キリスト教協議会が共同で翻訳し、小冊子を発行しています。

＜世界こども助け合いの日・献金　１月の最終日曜日＞

「**世界こども助け合いの日**」は、子どもたちが使徒職に目覚め、思いやりのある人間に成長することを願って制定されました。この日はまず第一に、子どもたちが自分たちの幸せだけでなく世界中の子どもたちの幸せを願い、そのために祈り、犠牲や献金をささげます。毎日のおやつや買いたいものなどを我慢してためた子どもたち自身のお小遣いの中から献金することが勧められています。日本では、各教会だけでなく、カトリック系の幼稚園や保育園の大勢の子どもたちがこの日の献金に協力しています。

この日の献金は全世界からローマ教皇庁に送られ、世界各地の恵まれない子どもたちのために使われます。

			教会暦	教会行事
２月	1	金		初金曜日ミサ　7:00　10:00
	2	土	主の奉献	結婚セミナー①
	3	日	年間第 4 主日	小教区評議会　12:00
	5	火	日本 26 聖人殉教者	
	8	金		教会掃除（灘北１・北・三田）
	9	土		社会活動部炊き出し

9	土		結婚セミナー②
10	日	年間第 5 主日 新教会建設献金の日	地区役員会⑥　12:00
11	月	世界病者の日	教会受付休み(振替休日のため)
15	金		教会掃除（灘北 2・阪神）
16	土		典礼部会　10：00 結婚セミナー③
17	日	年間第 6 主日	幼児を持つ親の集い　11:00 ふれあい広場 祈りと音楽の集い　14:00
22	金	聖ペトロの使徒座	教会掃除（灘南・神戸西）
23	土		結婚セミナー④
24	日	年間第 7 主日	春の墓参 施設管理部　11:30
27	水		教区月修

2018 年度第 4 回小教区評議会議事録

日　時：2018 年 12 月 2 日(日)　12：00～13：40

場　所：信徒会館第 4 会議室

出席者：主任司祭、助任司祭、議長団、評議員

(1)主任司祭の挨拶

(2) 協議事項

① 教会報の発行について

② 2019 年度活動計画と予算申請について

③ 2019 年度年間行事予定について

④ チャリティーバザーの献金先について

(3) 報告事項

①「六甲教会の祈り」カード配布

② 東ブロック会議（10 月 21 日）

「つながり」2018 年 12 月 79 号 P10 を参照。

③祈りと音楽の集い（10 月 28 日）

④ チャリティーバザー（11 月 11 日）

⑤ 教会大掃除、第 5 回地区役員会（11 月 17 日）

⑥ 第 5 回イエズス会 4 教会 WEB 会議（11 月 24 日）

⑦ 秋の黙想会（12 月 1 日）［宣教部］

次回小教区評議会：2019 年 2 月 3 日(日)

＜行事報告＞

秋の黙想会（12 月 1 日）

「喜びなさい、大いに喜びなさい」と題して 12 月 1 日（土）に中井淳神父様を指導司祭にお迎えして行われました。当日は秋の陽気も程よく、53 名の参加者を与えられて、神父様の軽妙な語り口に時として顔を綻ばせながらも、参加者それぞれが黙想のときを与えられました。前半は神父様ご自身の経験から、困難に直面したときに祈ることで慰めと希望を与えられたこと、後半は教皇フランシスコのエピソードを引かれながら「私たちはイエスの傷のうちにある」ということを強調されて、最後は共にミサに与り、感謝のうちに終わりました。（宣教部　宗行）

第 16 回メサイアクリスマスコンサート（12 月 9 日）

12 月 9 日（日）に第 16 回となるメサイアクリスマスコンサートが開催されました。第一部は声楽アンサンブルカメラータ神戸とゆりかごの会によるクリスマスキャロルを中心としたステージ、第 2 部はエリック・コロン氏指揮のもと 9 名の器楽アンサンブルと 70 名を越す合唱団によるメサイアを演奏しました。毎年の積み重ねもあり、限られた練習時間の中で最高のパフォーマンスができたのではないでしょうか。多くのお客様からも楽しかったとのお声をいただきました。

客席は早い時間から満席になり、アルフレド神父様自ら臨時の席を作っていただいたほどでした。会場で集まりました全額は教会への献金とさせていただきました。

今年は平成最後の年であり、来年からは新しい元号になります。メサイアも来年以降、同じ形でできるかどうかはまだわかりませんがまた皆で音楽を楽しめる場を持てると良いと思っております。感謝のうちに。（メサイア実行委員会　橋岡）

＜年末はメサイア！＞が恒例となり、16 回目を迎えた今年も参加させていただきました。コロン氏の人間味あふれる暖かい指導のもと、厳選された選曲は変化に富み、改めて歌うことの楽しさを感じました。楽器群の響きもお御堂での演奏にピタリとはまり、歌い手の心を鼓舞するとともに、聴衆の皆さんにもメサイアの素晴らしさをお届けできたのではないかと思っています。若い人を巻き込みながら、来年も＜年末はメサイア！＞をと願っております。ありがとうございました。

（阿部）

12 月 9 日に聖堂で行われたコンサートをお聴きして、それぞれの素晴らしさを感じました。中でもメサイアは、一番印象に残りました。集中的にメサイアを練習する機会があり、御言葉と曲の美しさ、展開の素晴らしさを感じるようになっていたからでしょう。「予言とキリストの誕生」「受難と贖罪」「復活と永遠の生命」を描いているヘンデルの感動的な曲の展開に魅せられます。

そんな中で、今回は、聖堂での大勢の方々の包まれるような歌声に感動を覚え、最後のハレルヤは思わずご一緒に歌っていました。

たくさんの方々が聴きに来られ、演奏者との一体感も生まれ、とりわけ聖堂でのメサイアを聴くことができたのは特別なものでした。

ありがとうございました。（山縣）

六甲教会混声合唱団　施設訪問（12 月 16 日）

六甲教会混声合唱団の皆様へ

先日は寒い中、グランダ御影山手へお越しいただきありがとうございました。

「今日は六甲教会の合唱あるわね。」とご入居の方々も朝から待ち望まれていました。毎年恒例行事となっている皆様のステージは、数ある催しの中で、最も人気のあるイベントの一つです。

軽やかなピアノ伴奏に始まる「ジングルベル」、威勢のいいトナカイやサンタの登場に会場は大盛り上がりでした。ご入居の方々も「ジングルベル，ジングルベル～♪」と思わず口ずさんでしまう和やかな光景は、とても心温まるものでした。

ぜひともまた来年、皆様の素敵な歌声を心待ちにしております。

日に日に寒くなって参りますので、どうぞお体にはお気をつけてお過ごしくださいませ。

グランダ御影山手スタッフ一同

≪　お　知　ら　せ　≫　教会のみなさまに知って頂きたい活動やお知らせです

★社会活動部より★

1 月　12 日（土）10 時　　**炊き出し（イグナチオホール台所）**

小野浜グランドにて、おじさん達のお話相手や配食だけでも OK です。

1 月 20 日(日) 10 時ミサ後　　**ふれあい広場（イグナチオホール）**

1 月 25 日(金)　9 時半　　**ともしび会 （イグナチオホール台所）**　施設の子どもたちへのケーキ作り

心あたたまるクリスマスチャリティーコンサート 2018 無事終了

12 月 1 日（土）神戸中央教会で、野宿者のために活動されているカトリック社会活動神戸センターを支援するためのクリスマスチャリティーコンサートが開かれました。教会内外問わず、今年は 12 グループが出演し、そのうち 4 グループは初出演で、しかもオカリナ、パンフルート、ギター、ドラム、サクソフォーンなどいろいろな楽器が登場し、迫力あふれ、思わず体をスウィングさせたくなるようなジャズ演奏もあり、大変盛り上がりました。野宿者であったおじさんたちもこの日ばかりは、チャップリンの格好をして歌や踊りを披露して下さり、場内が笑いで包まれ、最後にみんなで BELIEVE を歌って和やかな雰囲気で終わりました。コンサートのあとは中庭であたたかい炊き出しのスープをいただき、解散しました。

この日集められたチャリティー募金、これとは別の大口募金のすべてが活動センターへ送金されました。コンサートに来てくださったみなさま、ご協力ありがとうございました。来られなかった皆様も次回はぜひご覧ください。

お礼

昨年 12 月 8 日～16 日まで野宿者支援のためにたくさんの防寒着が寄せられました。この場をお借りして、寄付してくださった皆様に深くお礼申し上げます。 感謝 ！！

静修会のご案内

『現代社会と信仰生活』 －私達にできること－

日時： 2019 年 2 月 16 日（土） 13：00～16：00（12：30 より受付）

場所： カトリック住吉教会

指導： ヨセフ・アベイヤ補佐司教

申込： 神戸地区社会活動委員会事務局

fax 078-221-4733

e-mail sinapiskobe@yahoo.co.jp

締切： 2019 年 2 月 10 日（日）

主催： 神戸地区社会活動委員会 シナピス神戸

★典礼部より★

＊＊＊朗読奉仕者の方の事前練習について（お知らせ）＊＊＊

昨年に引き続き、第 2 回目の朗読奉仕者の方の事前練習を、次の通り実施いたします。

・2019 年 1 月 19 日（土）から 2 ヶ月間、毎土曜日 19 時ミサ前（18：40～18：50 の間）に朗読の事前練習を行ないます。
・当日の 19 時（土）ミサ担当の朗読奉仕者お二人の方は、18：40 までに聖堂にお集まり下さい。
・事前練習の時は、典礼部担当者が同席させていただきます。

★広報部より★

教会報の編集者を募集しています。専門技術は必要ありません。ワードの基本操作ができれば大丈夫です。教会受付までお問い合わせ下さい。

★図書室より★

＜12 月に出版された**聖書 聖書協会共同訳**について＞

2018 年 12 月『聖書 聖書協会共同訳』が出版されました。これまで「文語訳(明治)」「大正改訳」「口語訳」「共同訳」「新共同訳」と約 30 年ごとに新しい訳が出されてきましたが、聖書学や翻訳学などの進展と、日本語も変化してきています。いまよく使われている『新共同訳』の改訂ではなく、原語(新約はコイネー・ギリシャ語)から改めて訳されています。翻訳・編集者は各教派から、様々な背景を持つ方々が、また女性委員も多く参加しています。「嗣業」が「相続地」に、「はっきり言っておく」が「よく言っておく」に、「獅子」が「ライオン」に、「婦人」は「女」に…の変更の他、「引照・注」が標準使用されています。

しばらくの間、公式の典礼では新共同訳がそのまま使われますが、「一定の期間を置いて決定する。・・・聖書のより良い理解と分かち合いに寄与することを期待する。」と高見大司教様も言われています。（カトリック新聞 11/18）

図書室に 1 冊購入してあります。

＜12 月に出版された**使途的勧告　喜びに喜べ**（**教皇フランシスコ　カトリック中央協議会**）について＞

私たちは、神に栄光を帰すのはただ礼拝と祈りによって或いはなにがしかの倫理規範を遵守する…と考えるかもしれません。が、…何よりも、他者に対して何をなしたかであることを忘れないでください。…わたしたちが信じる心で受けた神からのたまものを兄弟姉妹への献身をもって表すときです。--本文より　教会事務所受付にあります。手に取ってご覧ください。

図書室にある子ども用の本ですが、次の 2 冊の本も皆さんにご利用をお勧めします。

☆ **そのとき風が吹いた　ド･ロ神父となかまたちの冒険　ニューロック木綿子･漫画オリエンス宗教研究所**

プティジャン神父が大浦天主堂で潜伏キリシタンと歴史的出会いを果たしたのを受け、フランスから長崎へやってきた宣教師マルクマリー・ド・ロ。医療・建築・土木・農業の広い知識と技術で、人びとに生きる糧と希望を持たらしたド・ロ神父の活躍と、共に献身的に働いた人びとの歩みを漫画でたどる。

☆ **フランシスコ教皇さまへ質問と絵:世界の子供たち　答:フランシスコ教皇　訳:片柳弘史　ドンボスコ社**

6 才から 13 才の世界中の子どもたちの素朴な疑問（子どもの写真と絵が添えてあります）に、パパさまが優しく答える。「小さいとき、何になりたかったですか？」「悪い人にも守護の天使が働いていますか？」「神さまはどうして悪魔を滅ぼさなかったのですか？」「いつも何をされているのですか？」・・・

≪お願い≫

教会に図書を寄付・寄贈される方は、信者や教会図書室利用者に、その図書の推薦文や、教会図書室に相応しい旨のアピールを添えて事務所に申し出ください。

「より良き死のために　デーケン神父×星野知子」（ダイヤモンド社 18 年 4 月刊）を読んで

『「死への準備教育」創始者が伝えたいこと』のサブタイトルのように、すべての人にいつか確実にやってくる“死”について哲学する「死生学」のパイオニアの 37 冊目の本です。「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」を実感させ、イエスへ近づくよう力強く誘う書です。自分のこと、父母や兄妹、友人・知人たちとの別れや、介護者や本人の死を迎える準備、心構え心がけ、過ごし方、またその後の受け止め方、それらを様々なケース（告知・ホスピス・遺言…）について具体的にしかも希望と確信へと導いてくれます。明るく率直で温かい、しかもごまかしのない言葉で心に訴えてきます。カトリック者はもちろん、周囲の家族、友人たちに、残された時間の中での落ち着いた準備をまた整理を促し、その道を示してくれます。感謝と許しの大切さを解らせてくれます。何よりも、読む人にこれから精いっぱい愛をこめて生きていこうという気にさせてくれる良書です。また、教会員の老齢化がどんどん進んでいる（＝確実な死への接近）中で、生きる喜びを伝える使命（＝宣教）を果たす者のあり方を示唆してくれる本です。　（飯塚）

未来に向かって共に歩むイエズス会４教会からクリスマスのご挨拶

Merry Christmas

今年も日本一を逃した広島・祇園より皆さまに、ご降誕のお祝いを申し上げます。

祇園教会　主任司祭　加藤　信也
信徒一同
イエズス会長東修道院共同体
イエズス会廣午カトリックセンター
エリザベト音楽大学
広島学院中学校高等学校
清心幼稚園

主のご降誕をお喜び申し上げます。

今年は自然災害が頻発し多くの人が苦しみました。
当教会は二人の司祭が亡くなり悲しみが襲いました。
たとえどのようなことがあったとしても、
イエスの誕生に心を合わせ、希望の灯をともしていくことができますように。

麹町 聖イグナチオ教会
主任司祭　英　隆一朗
李　相源神父　田丸篤神父
ヘネロソ フローレス神父　ハビエル ガラルダ神父
平林冬樹神父　酒井陽介神父
Br. 吉羽弘明
Sr. イベッテ サンチェス　Sr. ローズ レミジオ
信徒一同

大阪教区再宣教が 150 年前に始まった
神戸の地より、皆様に、
主のご降誕のお慶び申し上げます。

カトリック六甲教会
アルフレド・セゴビア神父
高山　親　神父
信　徒　一　同
イエズス会神戸修道院
増井　啓　神父
越智直樹神学生

Merry Christmas

ご降誕のお慶びを申しあげます。

フランシスコ・サビエルと大内義隆の「きずな」を賛美し、大切な家族や仲間との「きずな」、4 教会との「きずな」、サビエルを魅了した日本各地との「きずな」を深め合うまちの教会。

山口カトリック教会　主任司祭　百瀬文晃
ルイス・カンガス
桜井　彦孝
信徒一同

教会報2月号の発行は、2月3日（日）です。
原稿は1月20日(日)までに教会受付へご提出ください。FAX 及びメールでも受付いたします。
（広報部）
http://www.rokko-catholic.jp

カトリック六甲教会	
〒657-0061	神戸市灘区赤松町 3-1-21
電話	078-851-2846
FAX	078-851-9023
Mail address	renraku@rokko-catholic.jp
発行責任者	アルフレド・セゴビア
編集	広報部